

科目の年間授業計画（シラバス）

教科・科目	公民・公共（必履修科目）	単位数	2単位	履修年次	1年次
目標	1 良識ある公民としての基礎的な教養を高め、現代の社会におけるさまざまな課題について考察し、理解を深める 2 さまざまな資料から、必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる力と表現する力を養う 3 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う				
使用教材	私たちの公共（清水書院）				
評価の観点	【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】		
	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力を身につける。合意形成や社会参画を視野に入れ、構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、平和を愛し、各国が相互に主権を尊重し協力し合うことの大切さについての自覚を深める。		
評価方法	授業プリントの記述内容、提出頻度・授業態度、質問への応答内容・定期考査の結果などについて観点別評価				
学期	学習内容	学習のねらい			
1	第1部 公共の扉 第1章 社会で生きるということ 1 私たちと青年期 2 私たちと社会 3 人間の社会と文化 第2章 みんなが幸せな社会とは？ 1 よく生きるとは？ 2 幸せな社会とは？ 資料室 地球環境問題 第3章 公共的な空間における基本原理 1 個人の尊重と社会 2 民主主義・立憲主義 3 法はなぜ必要なのか	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期の課題や人間が社会的存在であることの意義を理解する。 ・世界の宗教や日本の思想等、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れ、自己と他者の価値観を尊重することの意義について理解する。 ・個人や社会全体の幸福を重視する考え方、公正な原理を重視する考え方などについて理解する。 ・生命倫理や環境倫理の問題を事例に、諸資料を読み取り、情報を活用して、人間としての在り方生き方について多面的に考え、表現する。 ・人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任、義務など社会における基本的原理について理解する。 			
2	第2部 よりよい社会の形成と参画 第1章 私たちの生活と法 1 個人と法 2 平等・自由・人間らしく生きる権利 3 新しい人権 第2章 私たちの生活と政治 1 日本の統治機構 2 国会と内閣のしくみとはたらき 3 行政機関としての国の役割と体制 4 裁判所のしくみとはたらき 5 紛争解決のしくみ 6 地方自治の役割と現状 7 選挙の仕組み、政党と政治参加 8 民主主義の原理と世論 第3章 平和主義と日本 1 日本の平和主義と憲法 2 日本の外交と平和な社会の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事例を通して、法や規範の意義及び役割について理解する。 ・日本国憲法と大日本帝国憲法の相違点について考える。 ・日本国憲法の三大原理について理解する。 ・具体的な事例と通し、平等権・自由権・社会権について理解する。 ・新しい人権について理解する。個人情報の保護について、資料を読み取り、情報モラルと情報リテラシーを高める重要性について理解する。 ・日本の統治機構と世界の統治機構を比較し、権利や自由を守るためにどのように組織されているか理解する。 ・国会のしくみとはたらき、内閣のしくみとはたらき、裁判所のしくみとはたらきについて理解する。司法権の独立の意義について考える。 ・刑事裁判と民事裁判の違い、紛争解決のさまざまなしくみについて理解する。 ・地方自治のしくみと意義や、選挙のしくみと課題について理解する。 ・民主政治において世論が果たす役割と課題について理解する。 ・平和な社会をつくるために戦後の日本外交が果たしてきた役割と課題について理解する ・憲法改正のあり方について考察、構想する。 			
3	第4章 私たちの生活と経済 1 私たちの生活と経済活動 2 市場経済のしくみ 3 企業の経済的役割 4 政府の経済的役割、税金と国債 5 金融機関の役割 6 労働と雇用、社会保障制度 第5章 私たちの生活と国際社会 1 国際社会と国際法 2 平和な国際社会をめざして 3 グローバル化する社会 4 発展途上国の経済成長と地域的な経済統合 5 持続的な国際社会	<ul style="list-style-type: none"> ・市場メカニズムなどの経済の基礎的なしくみと概念について理解する。 ・企業の役割とはたらきについて理解する。 ・財政と租税のしくみと機能について理解する。 ・金融のはたらきを事例に、金融のしくみと役割や新たな金融の形態について考える。 ・日本型雇用慣行および労働者をめぐる状況の変化について理解する。 ・社会保障制度の歴史的経過を把握し、制度の内容と課題について理解する。 ・第二次大戦後、世界の体制がどのように展開したか理解する。 ・先進国と発展途上国との経済格差の問題と課題について理解する。 ・「国際社会で貢献しよう」を事例に、SDGsの概念を理解するとともに、日本が国際社会で果たすべき役割について考える。 			
学習上の留意点	国内外の政治や経済等について、新聞を読んだりニュース番組を視聴して興味を持つようにし、主権者としての意識を高める。				